

やすらぎ通信

平成 25 年 正月

発刊不定期 横浜やすらぎの郷霊園管理事務所 〒241-0802 神奈川県横浜市旭区上川井町堀谷 1749-1
☎045-924-0210 FAX:045-924-0239 URL: y-yasuraginosato.jp Eメール: info@y-yasuraginosato.jp



***** ご案内 *****

お正月 「縁起だるま」 差し上げます

(数に限りがあります)

願い事や今年 1 年の平安を祈り向かって右の目を入れて下さい。

願い事の成就や、1 年の無事を感謝して左の目を入れて暮れにお持ち下さい。

《家内安全・無病息災・身体健全・合格祈願・厄除け…》

◇やすらぎ寺子屋のご案内 担当 善光寺院代

お墓参りの帰りにちょっと仏教に親しむ時間は如何ですか？

椅子坐禅や法話など、毎月開催しています（下記予定参照）お気軽にご参加下さい。

第 21 回 1 月 13 日（日）

第 22 回 2 月 9 日（土）

第 23 回 3 月 3 日（日）

於 管理棟 2 階 午後 2 時～（変更の場合有）1 時間ほど 宗教宗派不問 参加費無料

◇善光寺祈祷会のご案内

新年祈祷会 1 月 9 日（水）午前 11 時～ 福引も有ります!!

節分追難会 2 月 3 日（日）午前 11 時～ 力士の豆まきもあります!!

於 善光寺釈迦殿 ※霊園への送迎バスはありません。

◇善光寺講座 ～『論語』からのおはなし～ 講師 東郷 敏 先生

善光寺総代でもある東郷先生が軽快なユーモアを交え、日常の生活に活用できる生き生きとした『論語』の世界へと誘います。老若男女問いません。是非ご参加下さい。

第 1 回 1 月 14 日（月）成人の日

第 2 回 2 月 11 日（月）建国記念日

第 3 回 3 月 10 日（日）

於 善光寺客殿（港南区日野中央） 午後 3 時～ 1 時間程 参加費無料

◇ おせち色々



お正月には『おせち料理』。昔のように大晦日、遅くまでお料理をして重箱に詰めてというご家庭は少なくなり、デパートや有名料理店からお取り寄せをされるご家庭やおせち料理自体に興味を持たない方も増えている昨今。おせちの由来、幾つご存知ですか？

おせち料理の言葉の由来

日本では古代より、季節の移り変わりに節の日を設けて「節句」と呼んでいました。江戸幕府によって公的な祝日として設けられた節句は次の5つ。

- ・ 1月7日 人日（じんじつ）の節句
- ・ 3月3日 上巳（じょうし）の節句「桃の節句」
- ・ 5月5日 端午（たんご）の節句
- ・ 7月7日 七夕（たなばた）の節句
- ・ 9月9日 重陽（ちょうよう）の節句

上記に特別扱いをされた1月1日の元旦を加え、これらの日に神様に感謝のお供え物をする行事が行われ、その際の料理を『お節供料理』と呼び、この言葉が『おせち料理』の由来といわれています。

祝い箸

お正月に使う祝い箸。箸袋に名前を書いて三ヶ日使う方も多いのではないのでしょうか。

お箸の両端が細くなっているのは、片側を神様に使っていただき、神様と食事を共にする為のだから。お正月には年神様が家に来られると言われ、そのお迎えの為に門松をたて、鏡餅をお供えするのですが、おせち料理も一緒に頂いて一年間の五穀豊穰、家内安全を祈念するのですね。

食材・料理

古来、お正月には台所で火を使うことを避ける風習があり、おせち料理は日持ちがするものが多くなっています。火を使わない風習も火の神様（荒神様）を怒らせない為とか。食材や料理に込められたいわれを紹介します。

（諸説あると思いますが、一般的に言われているものを取り上げました。紀文食品 HP 参考）

【紅白蒲鉾】 紅白は祝の色

蒲鉾は「日の出」を象徴するものとして、元旦にはなくてはならない料理。紅はめでたさと慶びを、白は神聖を表します。



【伊達巻】 長崎から伝わったシヤレた料理

江戸時代、長崎から江戸に伝わった「カステラ蒲鉾」が、伊達者（シヤレ者）たちの着物に似ていたので伊達巻と呼ばれるようになったようです。また、昔は大事な文書や絵は巻物にしていたので、おせち料理には巻いた料理が多くあります。



【錦玉子】 金、銀、錦にたとえて

黄身と白身の2色が美しい錦玉子は、その2色が金と銀にたとえられ、正月料理として喜ばれます。2色を錦と語呂合わせしているとも言われます。



【栗きんとん】 豊かさや勝負運を願って

黄金色に輝く財宝にたとえて、豊かな1年を願う料理。日本中どこにでもある栗は、山の幸の代表格で、「勝ち栗」と言って、縁起がよいとして尊ばれてきました。



【黒豆】 元気に働けますように

「まめ」は元来、丈夫・健康を意味する言葉です。「まめに働く」などの語呂合わせからも、おせち料理には欠かせない料理です。

**【昆布巻】** 日本料理の必需品、昆布で健康長寿を

昆布は「喜ぶ」の言葉にかけて、正月の鏡飾りにも用いられている一家発展の縁起ものです。おせち料理には、煮しめの結び昆布、昆布巻となかなかの活躍です。

**【田作り】** 小さくても尾頭付き

五穀豊穡を願い、小魚を田畑に肥料として撒いたことから名付けられた田作り。片口鰯の小魚(ごまめ)を使います。関東でも関西でも祝い肴三品のうちの一品です。

【数の子】 子宝と子孫繁栄を祈る

数の子はニシンの卵。二親(にしん)から多くの子が出るのでめでたいと、古くからおせちに使われました。

**【菊花かぶ】** 旬のかぶもめでたい形で

冬が旬のかぶをおめでたい菊の形に飾り切りし、紅く染めて、紅白の酢のものに仕立てたます。消化によい栄養素を含み、ご馳走の中の箸休めにぴったり。

**【小肌栗漬】** 将来の出世を願って

小肌はコノシロという魚の成魚になる前の名前。出世魚なので縁起がよいといわれています。黄色はクチナシで染めた栗で、五穀豊穡を願っています。

**【えび】** 長生きの象徴

えびは、長いひげをはやし、腰が曲がるまで長生きすることを願っておせち料理に使われます。おせち料理には、小えびを串で止めた鬼がら焼がよく用いられます。

**【お多福豆】** 福を招く豆料理

「阿多福」という字が当てられ、文字通り福を招く食べ物として、祝い膳にはよく登場します。空豆の一種で、その形が、ふくよかなおたふくの顔に似ているところから、お多福豆と呼ばれています。

**【紅白なます】** 紅白でおめでたいさっぱり料理

生の魚介と大根、にんじんと酢で作ったことから、なますの名がつけられました。今は生の魚介の代わりに、干柿や昆布、ゆずの千切りも用いられます。

**【ごぼう】** 細く長く幸せに

細く長く地中にしっかり根を張るごぼうは縁起のよい食材として様々に使われています。たたきごぼうは、軟らかく煮たごぼうを叩き、身を開いて、開運の縁起をかついだもの。ごぼうの産地である八幡の名をとった、牛肉の八幡巻、穴子の八幡巻も正月らしい巻もの料理です。宮中で正月に配られる花びら餅の芯にも、ごぼうが用いられ、大切に扱われているのです。

**【するめ】** 祝いごとを表す縁起物

「寿留女」の字をあて、結納の品として使用され、めでたい祝儀の膳に欠かせない品でした。恵比寿神を奉るエビス棚には、しめ縄が飾られ、するめ・昆布・新巻鮭などを飾る習慣がありました。寿とは、幸せのこと祝事を表す言葉です。





請求書の祈りと領収書の祈り

多くの仏教関係の著作がある ひろさちや氏は、祈りには2つの種類があることをこう表現しています。

「宗教心というと、今の日本人はすぐに御利益信仰を思い浮かべますが、神様にあれこれ願い事をするのは宗教ではありません。ああしてください、こうしてくださいとまるで請求書をつきつけるような祈りを、私は『請求書祈り』と名付けていますが、本物の宗教心というのは、“私はこれだけのものをいただきました。どうもありがとうございました”という『領収書祈り』なんです」(『サライ・インタビュー集 上手な老い方』より)

また、仏教学者の岸本英夫氏は、信仰への姿勢、態度を次の3段階に分けて説明されています。(著書「宗教学」より)

1 「請願態」(せいがんたい)

神や仏、また運といったものに奇跡や何かご利益を期待する信仰の姿勢。

2 「希求態」(ききゅうたい)

信仰に基づいた理想に向かう道を歩く(規律ある生活を実践する)事で人生の意味と生きがいを求め見出していく姿勢。

3 「諦住態」(たいじゅうたい)

信仰上の究極的価値(悟り)を諦め(見出し)、そこにどっしりと心を置きながら、普段の生活を営んでいく 姿勢。心穏やかに。

『お願い事・請求書祈り』は1番の『請願態』の信仰。ご利益のある、なしによって信じるか信じないかを自分で判断して決めている状態。でも自分の価値判断と仏様の判断は異なるかも知れません。

「もっと給料を上げてほしい、評価して欲しい(これだけ頑張っているのに…)」

「宝くじが当たりますように(住宅ローンの返済が…)」。

「なんで、うちの嫁は…。姑は…。など人間関係で相手に求める気持ち(もう少しどうにかならぬかしら)」
等々、日常のちょっとした不満改善を神さまにお願いしていませんか？

周囲を変える事ではなく、自分が変わっていく事、受け止め方を変えること。それには自分をしっかり見つめ、愚痴や不満ではなく、まず感謝の思いを表すこと。それが『領収書祈り』、本来の信仰の態度と言われます。長い人生、祈ることしか出来ない時もある。祈る事で変わって行く事もある。

人事を尽して天命を待つ。やるだけの事をやったら、後は神のみぞ知る。神さま・仏さまにお任せして精一杯に日々を過ごすだけです。そしてお祈りには感謝の言葉『ありがとうございます』を添えて。

どうぞ皆さまにとって「ありがとう」の溢れる素晴らしい一年となりますように。

合掌

編集後記

昨年の漢字一文字には『金』が選ばれました。今年はどんな漢字(感じ)でしょうか？

新年に込める期待と目標。今年こそは3日坊主とならないような目標を立て地に足つけて出来る事を一歩ずつ行っていきたいなあ。(継続は力なり)

